

北九州市教育委員会による 音声教材普及促進の取組 ～マルチメディアデイジー教科書の導入～

北九州市SDGs未来都市

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



北九州市教育委員会指導部
特別支援教育課

1 · SDGs未来都市 北九州市

2 · 北九州市の学校・園

3 · 北九州市の特別支援教育

4 · 北九州市の音声教材普及促進の取組

5 · マルチメディアアデイジー教科書の啓発・広報

I SDGs未来都市 北九州市



経済協力開発機構 (OECD) のSDGsモデル都市に

アジアで初めてのモデル都市に

OECDは「SDGs推進に向けた地域的アプローチ」プログラムを立ち上げ、そのモデル都市に北九州市を選定しました。このモデル都市選定を受けて、OECD東京センターの村上由美子所長と北橋市長は2018年4月に北九州市庁舎にて共同記者会見を行いました。

北九州市の他にボン市(ドイツ)、南デンマーク地方(デンマーク)、フランダース地方(ベルギー)、コルドバ州(アルゼンチン)がモデル都市・地域となり、SDGsの相互学習(ピア・ラーニング)や世界初の試みとなる都市・地域レベルで比較できるSDGs指標(インディケータ)の開発を約2年間かけて行います。



北九州市の共同記者会見





門司港駅



小倉城



世界遺産 官営八幡製鐵所関連...



東田第一高炉



環境ミュージアム



関門海峡ミュージアム



北九州市漫画ミュージアム



TOTOミュージアム

2 北九州市の学校・園

R元. 5. 1 現在

学校・園	校・園数
幼稚園	4
小学校	130
中学校	62
特別支援学校	8
高等学校	1
計	205

北九州市の教育

北九州市教育大綱

～SDGsの視点を踏まえたシビックプライドの醸成～

I 北九州市の未来を担う子どもの姿

- ◎本市に誇りをもつ子ども
- ◎新たな価値創造に挑戦する子ども
- ◎自立し、思いやりの心をもつ子ども

II 市全体で子どもの教育を支える5つの柱

1. 新たな時代を切り拓く力の育成

- (1) SDGsの視点を踏まえた教育の推進
- (2) グローバル化に対応する英語教育の推進
- (3) 超スマート社会を見据えた教育の情報化推進

2. 本市が誇る文化芸術・スポーツ、歴史などの特性を活かした教育の推進

- (1) 「東アジア文化都市 2020 北九州」をはじめ、文化芸術に触れる機会の充実と人材の育成
- (2) スポーツに触れる機会の充実と人材の育成
- (3) 本市ゆかりの先人や伝統文化など、地元の誇りとする文化を継承する取組みの推進
- (4) 地元企業などと連携・協力したキャリア教育

3. 市民総ぐるみで子どもの教育を支える取組みの推進

- (1) 家庭や地域とともにある学校づくりの推進
- (2) 企業や団体、大学、NPO等と連携した取組みの推進
- (3) 家庭、地域や関係機関等と連携した防災・安全に係る取組みの推進

4. 一人一人に寄り添った「誰一人取り残さない」子どもへの支援

- (1) 障害のある子どもへの支援
- (2) いじめ、長期欠席等へのきめ細かな対応
- (3) 児童虐待の防止
- (4) 子どもの貧困対策

5. 「働き方改革」の推進

- (1) ワーク・ライフ・バランス実現に向けた社会全体での取組みの推進
- (2) 教員が子どもと向き合う時間を確保し、生き生きと充実して仕事ができる環境づくり

令和元年5月9日

北九州市長 北橋 健治

2019 (平成 31) 年度
北九州スタンダード



指導の重点

「つなぐ」「かさねる」「つらぬく」

カリキュラム・マネジメントの実現

北九州市教育委員会



北九州市の教育

北九州市教育の目標

思いやりの心をもつ、自立した子どもを育てる

- 自分の可能性を信じ、夢や希望をもつ子ども
- 自分の力でやり遂げ、自立する力をもつ子ども
- 思いやりの心をもち、行動できる子ども

北九州市の学校教育の願い

どの子どもにもよい環境でよい教師によるよい教育を

- すずんで学び、深く考える子ども
- 健康で、はつらつとした子ども
- ゆたかな心と強い意志をもつ子ども
- 未来を開き、あすに向かって生きる子ども

SDGsの視点を取り入れた教育の推進



2019(平成31)年度 北九州スタンダード

「指導の重点」(ダイジェスト版)の作成にあたって

「指導の重点」をより身近なものにしていただき、日ごとの教育活動に活用していただくため、「指導の重点」(ダイジェスト版)を作成しました。

各教科教育等の重点や資料を含め、教育イントラナビの「指導の重点」(WEB版)に詳細を公開しています。

教育イントラナビ内の

「指導の重点」(WEB版)の内容

- ・ まえがき
- ・ 教育改革の流れ
- ・ 2019(平成31)年度「指導の重点」の基方針
- ・ 重点項目1～X(詳細)
- ・ 幼稚園における教育等の重点
- ・ 小中学校における各教科教育等の重点
- ・ 資料編

2019(平成31)年度「指導の重点」全体構想

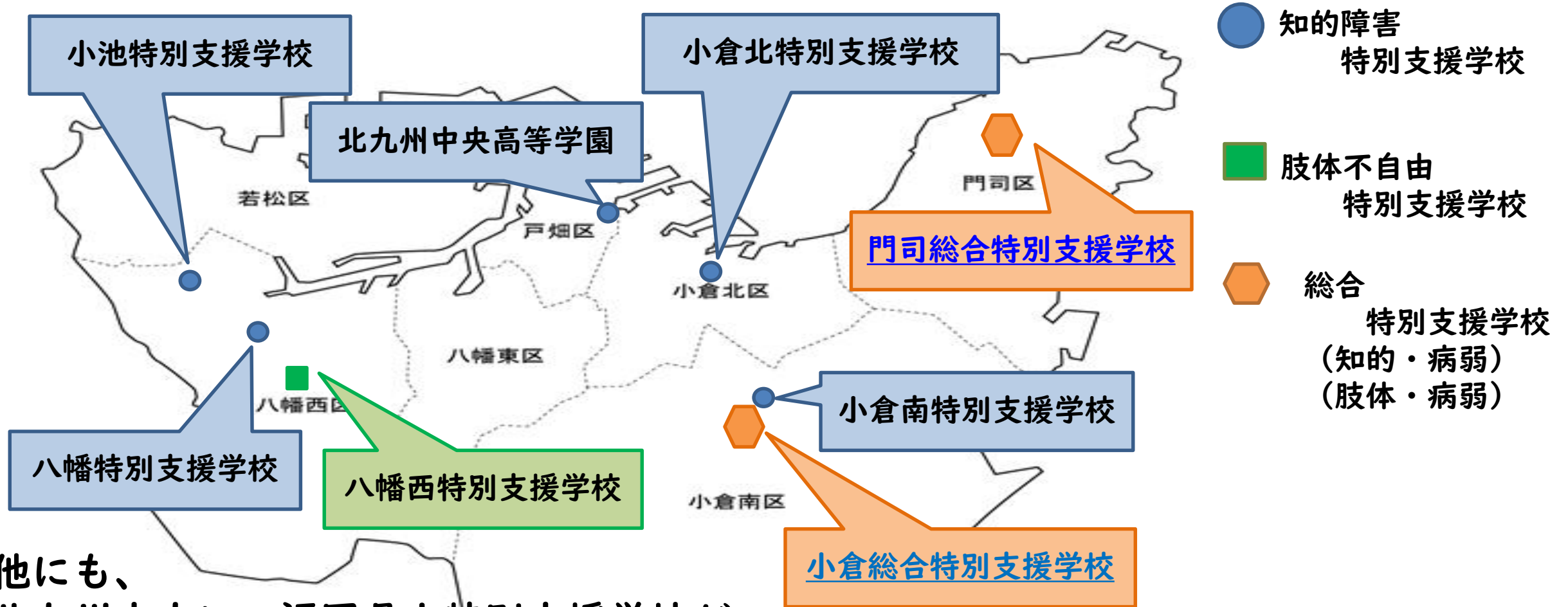
北九州市教育大綱・北九州市子どもの未来をひらく教育プラン
SDGsの視点を踏まえたシビックプライドの醸成
～誰一人取り残さない教育～

一人一人に「生きる力」を育む学校教育の創造



社会が開かれた「つなく」「かきぬる」「つらぬく」カリキュラム・マネジメントの実現

北九州市立特別支援学校は8校



他にも、
北九州市内に、福岡県立特別支援学校が
2校あります。
(視覚特別支援学校・聴覚特別支援学校)

小学校（130校）

◆ 特別支援学級の学級数

○知的障害

○自閉症・情緒障害

○難聴

111校（251学級）

在籍児童数 1395人

中学校（62校）

◆ 特別支援学級の学級数

- 知的障害
- 自閉症・情緒障害
- 難聴

54校（112学級）

在籍生徒数 571人

北九州市の通級指導教室

令和元年5月1日現在

種 別	区	設置校	種 別	区	設置校
言 語	八幡西	黒崎中央小学校	LD・ADHD	門 司	大里東小学校
難聴・言語	八幡東	八幡小学校	LD・ADHD	小倉南	広徳小学校
難聴・言語	小倉北	菊陵中学校	LD・ADHD	小倉南	吉田小学校
難聴・言語	八幡東	中央中学校	LD・ADHD	若 松	二島小学校
情 緒	八幡東	枝光小学校	LD・ADHD	八幡西	青山小学校
情 緒	八幡西	赤坂小学校	LD・ADHD	八幡西	大原小学校
情 緒	八幡西	筒井小学校	LD・ADHD	八幡西	楠橋小学校
情 緒	小倉北	思永中学校	LD・ADHD	戸 畑	一枝小学校
弱 視	戸 畑	天籟寺小学校	LD・ADHD	八幡西	引野中学校
			LD・ADHD	八幡西	本城中学校

19校30教室

特別支援教室(校内通級)

小倉北区21校 (拠点校:清水小学校)

八幡西区 浅川中学校

特別支援教室（校内通級）

「特別支援教室」とは、児童生徒が通級指導教室の設置校へ通うことなく、在籍校で巡回指導教員（通級指導教室担当者）から「自立活動」の指導を受けるといふ、通級による指導の新しい形態です。

今年度は、小学校では小倉北区をモデル地区に指定し、区内の全ての小学校に「特別支援教室」を設置して担当者による巡回指導を行います。

中学校では八幡西区にモデル校1校を指定して「特別支援教室」を設置し、校内で通級による指導を行います。

令和2年度以降は、準備の整った区から順次実施を進めていく予定です。

校種	種別	区	実施校及び実施方法
小学校	言語 難聴・言語 情緒 LD・ ADHD	小倉北区	清水小学校に巡回指導教員を5名配置し、小倉北区内の小学校を巡回指導します。
中学校		八幡西区	浅川中学校に担当教員を1名配置し、在籍生徒を対象に自立活動の指導（校内通級）を実施します。

3 北九州市の特別支援教育

令和元年度

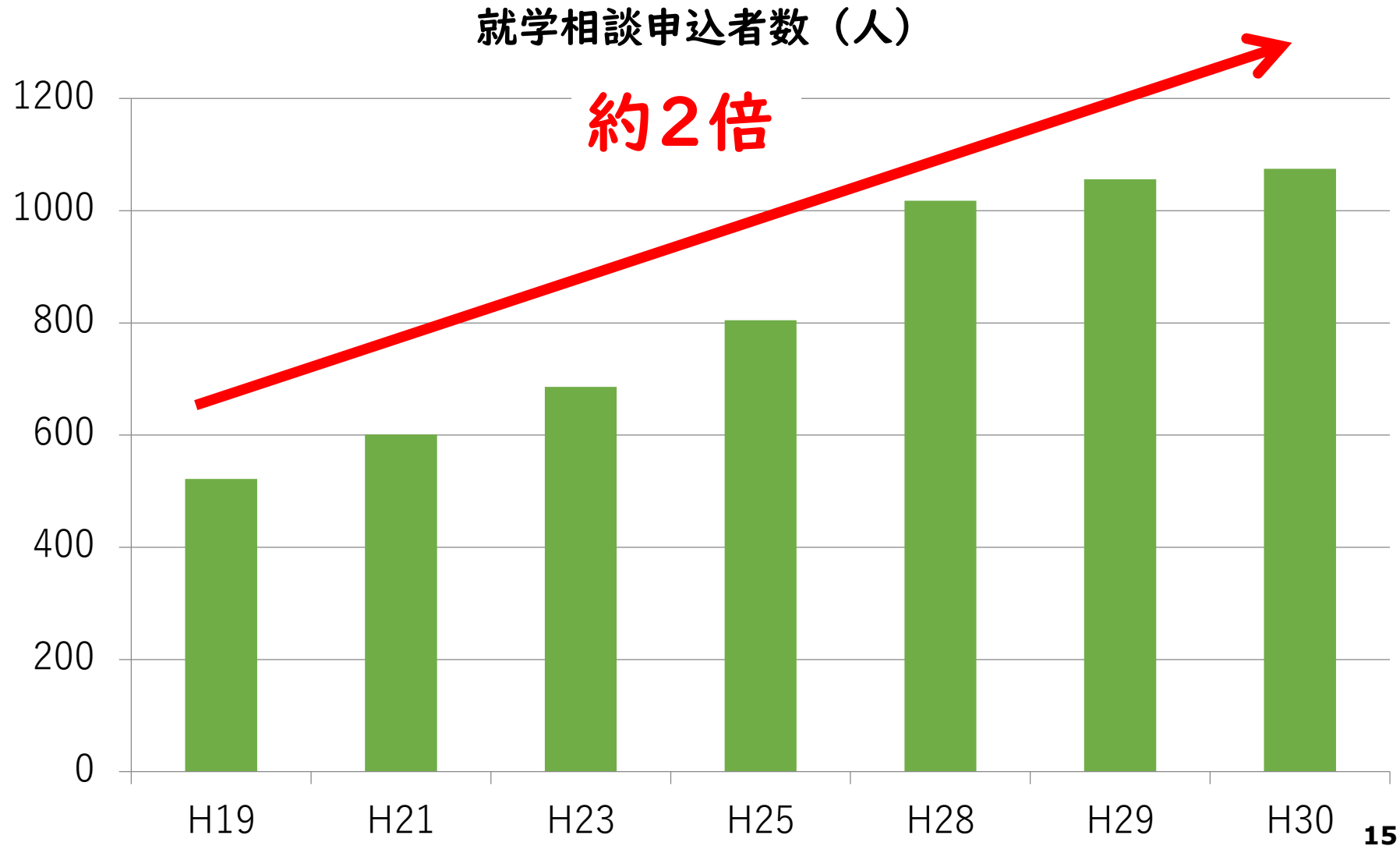
北九州市の特別支援教育

～北九州市特別支援教育推進プランに基づく取組の充実～



北九州市教育委員会

北九州市の就学相談会申込数の推移



北九州市特別支援教育推進プランについて

北九州市特別支援教育推進プラン

平成29年1月

北九州市教育委員会

【特別支援教育の理念】

- 障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、一人一人の教育的ニーズを把握し、そのもてる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うもの
- これまでの特殊教育の対象の障害だけでなく、知的な遅れのない発達障害も含めて、特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する全ての学校において実施されるもの
- 障害の有無やその他の個々の違いを認識しつつ様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成の基礎となるもの

「5つの視点」を踏まえた施策の推進

一人一人に着目した連続性のある指導支援の充実

相談支援体制の整備

教員の専門性の向上

障害者理解の促進

施設・設備面の整備

目指す方向性

可能性を生かす・引き出す教育

+

「わかる」「できる」喜び

=

子どもたちの
生きる力

互いの人格や多様性、
個性の尊重

+

環境の整備

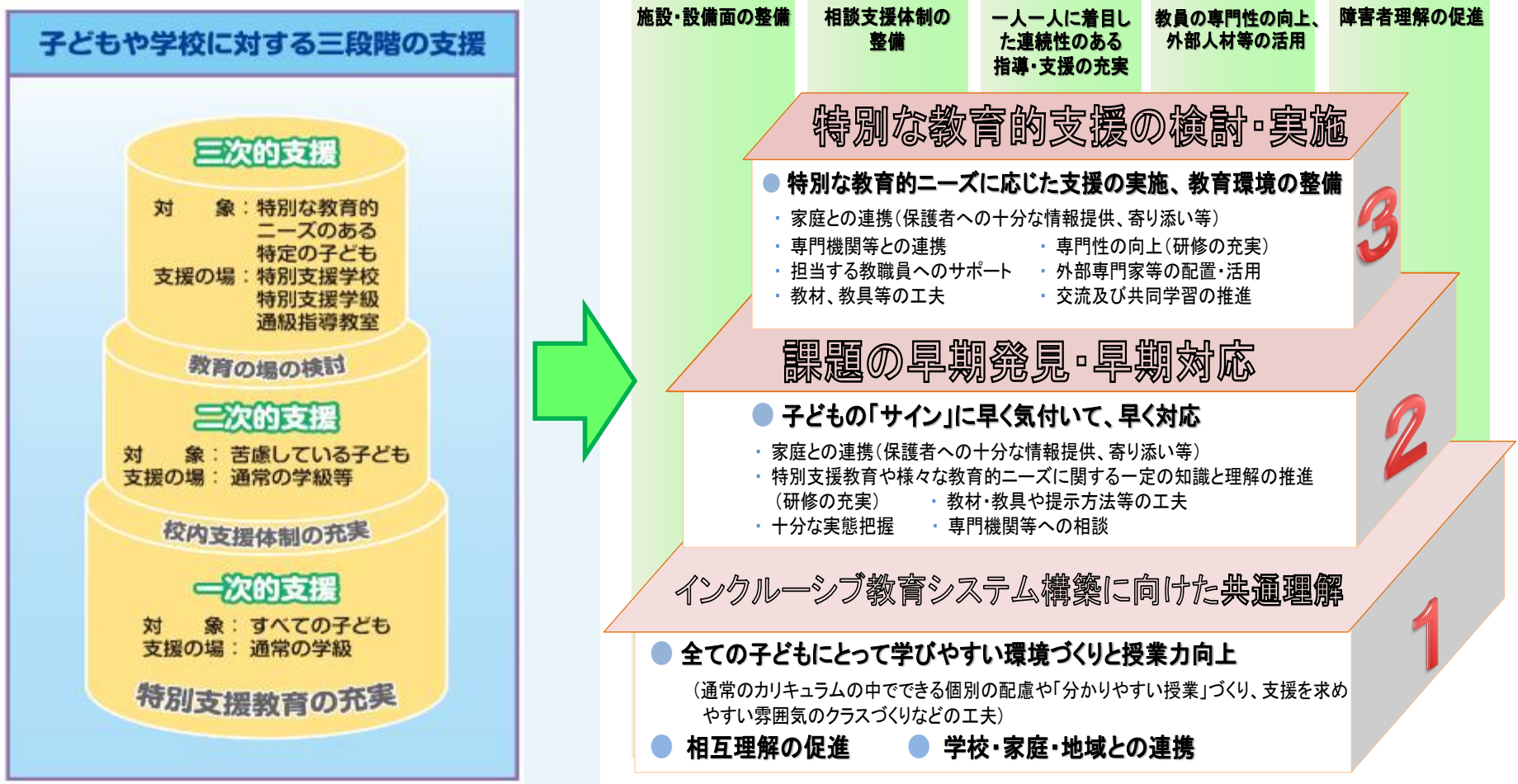
+

障害者理解の促進

=

共生社会の
形成

特別支援教育の対象と三段階の支援



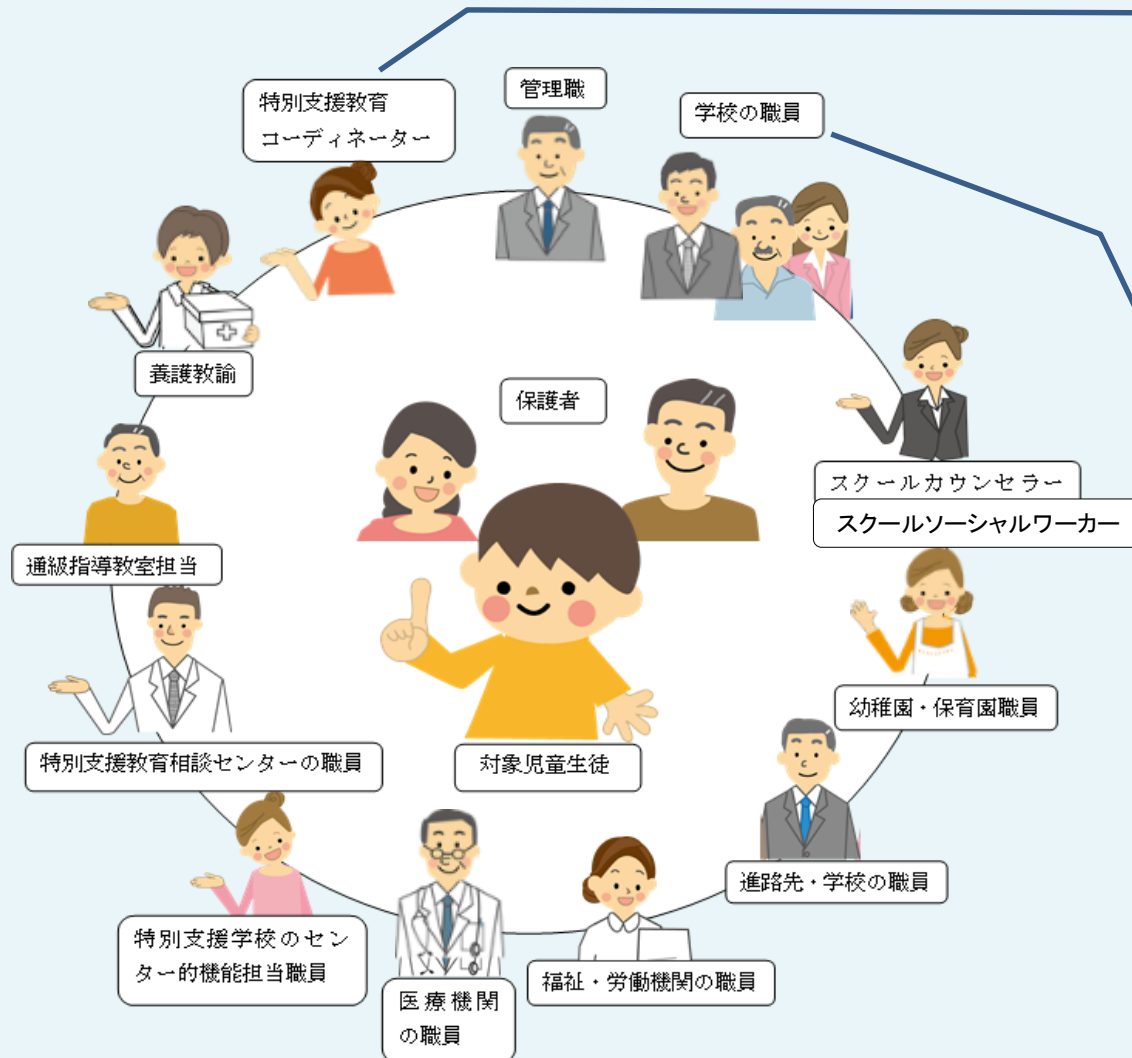
「学校心理学」(石隈 1999)を改編

【北九州市特別支援教育推進プラン「5つの視点」を踏まえた特別支援教育推進体制のイメージ図】

特別支援教育は、通常の学級・通級指導教室・

特別支援学級・特別支援学校全ての学びの場で実施

校内支援体制の充実について



特別支援教育コーディネーター
の主な仕事内容は、次の4つで
す。

- ① 校内委員会での推進役
- ② 担任支援
- ③ 関係諸機関との連絡調整
- ④ 保護者の相談窓口

学校の職員の中には、

- ・特別支援学級補助講師
- ・特別支援教育学習支援員
- ・特別支援教育介助員

が含まれます。

学校の状況や必要性に応じて
配置され、通常の学級や特別
支援学級に在籍する児童生徒
の学習面・生活面の補助や介
助を行っています。

「心のバリアフリー推進事業」～7行政区での実践～

スポーツや芸術を通して 個性や多様性を認め合おう!

～特別支援学校と地域校の交流で醸成する「心のバリアフリー」～

「心のバリアフリー」という言葉を聞いたことは、ありますか？

「心のバリアフリー」とは、様々な心身の特性や考え方をもちすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことです。

本市では、特別支援学校と地域校(小・中・高等学校)の児童生徒がペアになって、本市発祥の「ふうせんバレーボール」、アイマスクを着用して行う「フロアバレーボール」等の障害者スポーツを行ったり、文化芸術活動を体験したり、障害者アスリートやアーティストの体験談を聞いたりしながら、お互いの良さや違いを理解していく取組みを行っています。

子どもたちは、ルールや内容をアレンジしたり、クラスマッチの種目に取り入れたり、「誰もが楽しめるように!」と、自ら工夫しながら、楽しんで学習しています。



■心のバリアフリー推進事業対象モデル校(平成29年度より継続)

区	特別支援学校	地域校
門司	門司総合特別支援学校	小森江西小学校
小倉北	県立小倉聴覚特別支援学校	三郎丸小学校
小倉南	小倉南特別支援学校	県立北九州高等学校
若松	小池特別支援学校	ひびきの小学校
八幡東	県立北九州視覚特別支援学校	高見中学校
八幡西	八幡西特別支援学校	大原小学校
戸畑	北九州中央高等学園	北九州市立高等学校

特別支援学校・特別支援学級合同作品展

令和元年度 特別支援学校・特別支援学級

合同作品展

開催日時 令和元年10月9日(水)～10月15日(火)
時間:10:00～19:00

<※15日(火)は、15:00まで>

場所 ウェルとばた 2階 交流プラザ
北九州市戸畑区汐井町1-6

出品者 若松区・八幡東区・八幡西区・戸畑区の
北九州市立特別支援学校小学部児童
北九州市立小学校特別支援学級児童

特別支援学校や特別支援学級に在籍する児童生徒の作品を展示する「特別支援学校・特別支援学級合同作品展」が今年も開催されます。

来場者からは、「作品から一生懸命な気持ちが伝わってきました。」「素敵な作品ばかりでした。」など、多くの温かい言葉が寄せられました。

今年度は、小池特別支援学校・八幡特別支援学校・八幡西特別支援学校の小学部と、若松区・八幡東区・八幡西区・戸畑区の小学校特別支援学級に在籍する児童の作品を展示します。特別支援教育や障害のある児童生徒への理解を深める作品展に、皆様も是非ご来場ください。

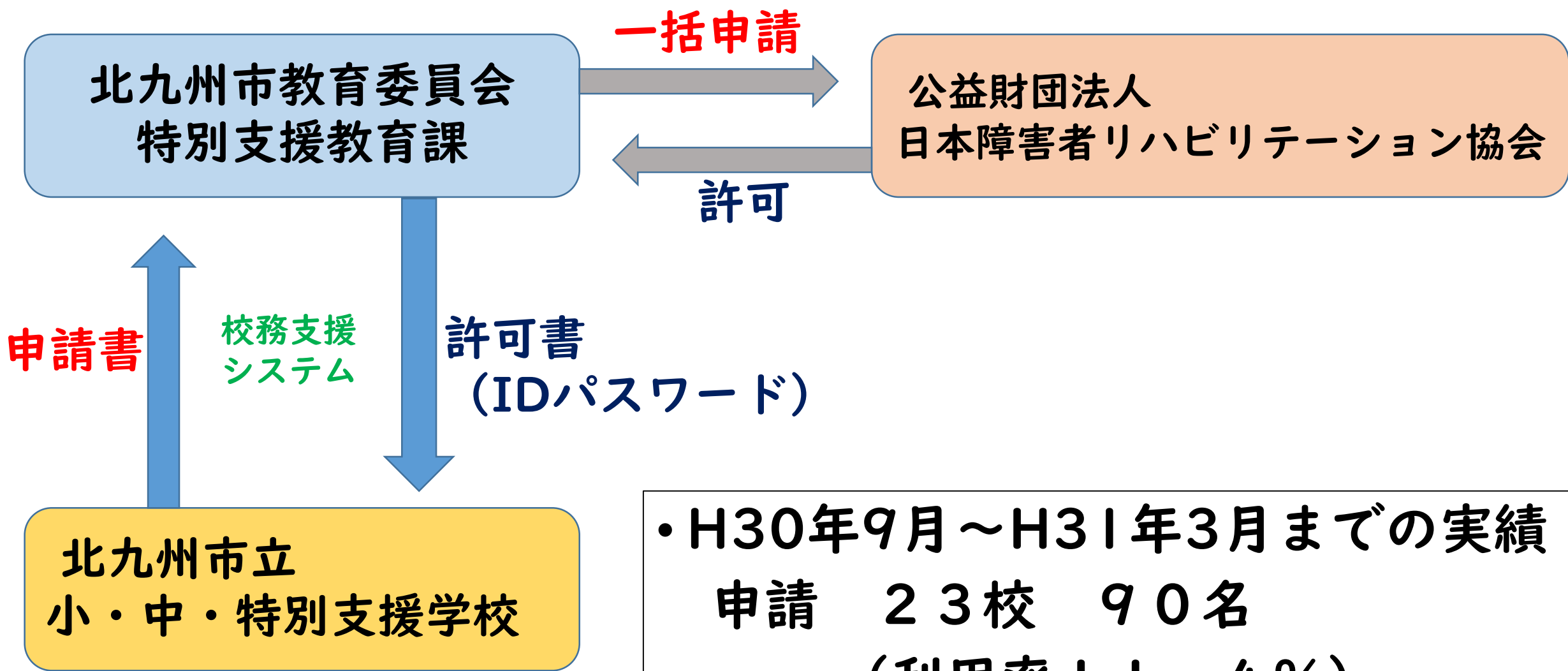


主催 北九州市教育委員会 (特別支援教育課)
連絡先 ☎ (093) 582-3448



4 北九州市の音声教材普及促進の取組

【教育委員会による一括申請】



・H30年9月～H31年3月までの実績
申請 23校 90名
(利用率11.4%)

【ICT環境整備の現状】

- 全小・中・特別支援学校の各教室にデスクトップ型PCと大型テレビを設置
- 全小・中・特別支援学校に1台ずつ電子黒板を整備
(学校予算で複数の設置も可能)
- 全小・中・特別支援学校に校務支援システムを導入



【タブレット端末の整備】

- 平成30年度 ICTリーディングスクール（小・中学校4校）にタブレットを整備
- 令和元年度 市内全中学校・全特別支援学校にタブレットを整備（予定）
- 令和2年度 市内全小学校にタブレットを整備
(計画)

マルチメディアダイジェー教科書導入まで

環境整備

導入の検討

H29年度

音声教材普及促進会議への参加

音声教材用視聴用PCの購入

申請システムづくり

H30年度 前期

音声教材用視聴用PCの設置

マルチメディアダイジェー教科書の教育委員会一括申請

申請書・許可書様式の検討・作成

モデル校へ導入依頼

定例校・園長会議で周知

モデル校での活用の視察

校務支援システムで、申請方法等一斉配信

申請 活用

H30年度後期

学校からの申請受付開始

各種研修会等での啓発

北九州市音声教材普及促進研修会の実施

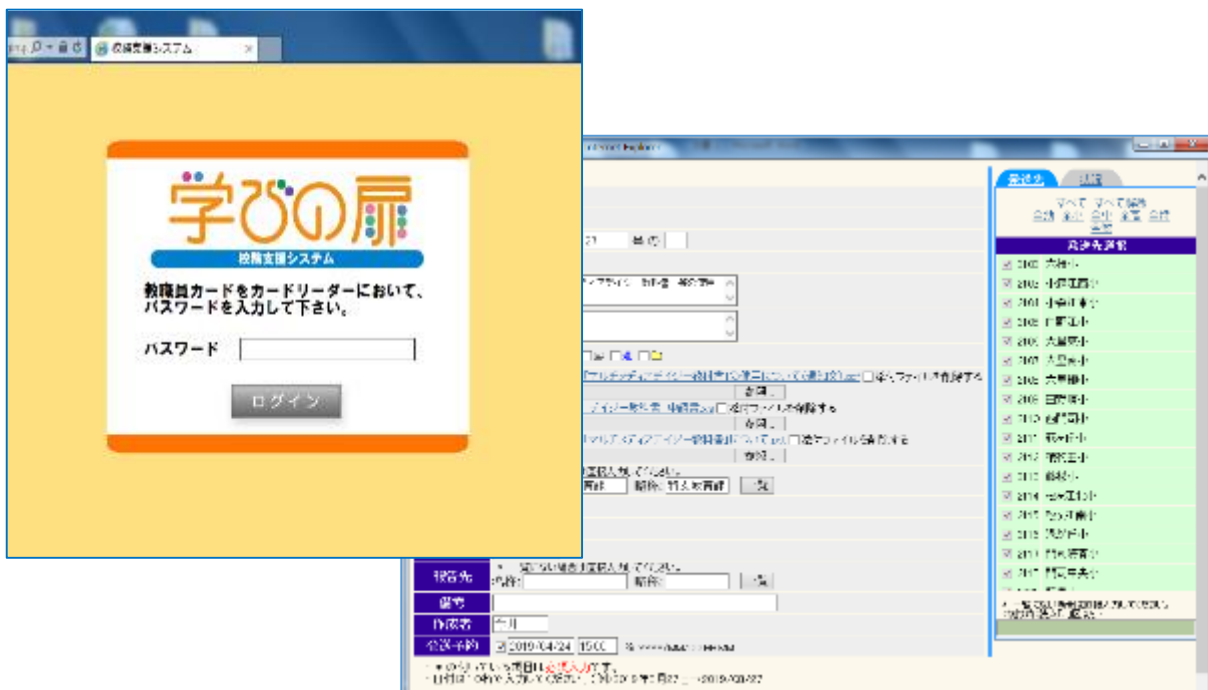
Facebook等での広報

システムづくり

定例校・園長会議で周知

- ・指導主事による口頭説明
- ・文書・資料の配付

校務支援システムで、申請方法等一斉配信



北九州市立
小・中・特別支援学校長 様

北九州市教育委員会
特別支援教育課長 山田 浩司

音声教材「マルチメディアデジ教科書」等の使用について（通知）

このことについて、「マルチメディアデジ教科書」のデータの取得を希望する学校については、特別支援教育課を通じて制作団体に本年度の使用申請ができるようになりましたので、お知らせします。

また、音声教材のデータサンプルをデスクトップ型パソコンにて視聴できるよう教育センター内に整備しています。

については、これらのことについて関係職員に周知するとともに、データの取得を希望する学校は別紙使用申請書に必要な事項を記入の上、下記に留意して提出をお願いします。

記

- 1 音声教材のデータの取得について
 - (1) 様式1に必要な事項を記入の上、校務支援システムメールにて特別支援教育課担当者宛に送付すること。
 - (2) データの利用に当たっては、活用方法等について当該児童生徒及び保護者とともに十分に検討すること。
 - (3) 音声教材利用者には、必要に応じてマルチメディアデジ図書データの提供することも可能である。データの取得方法については、以下に問い合わせること。
 - (4) 昨年度申請した学校も、本年度用のパスワードを配付するので、改めて申請すること。
- 2 音声教材のデータサンプルの視聴について
 - (1) 閲覧場所 西部地区教科書センター
(教育センター302号室「教育実践サポート室」内)
 - (2) 閲覧時間 9:00～16:30 ※ 開館延長日は20時まで
 - (3) 閲覧可能データ
 - ア 平成31年度 マルチメディアデジ教科書（データ公開分のみ）
(日本障害者リハビリテーション協会 制作)
 - イ マルチメディアデジ図書「わいわい文庫」(計144点)
(公益財団法人 伊藤忠記念財団 提供)

音声教材「マルチメディアデイジー教科書」について

音声教材について

音声教材とは、発達障害等により、通常の検定教科書では一般的に使用される文字や図形等を認識することが困難な児童生徒に向けた教材で、パソコンやタブレット等の端末を活用して学習する教材。「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」（教科書バリアフリー法）に基づき、教科書発行者から提供を受けた教科書デジタルデータを活用し、ボランティア団体等が制作している。文部科学省は、以下の団体に調査研究を委託しており、その成果物である音声教材を読み書きが困難な児童生徒に無償提供している。

エンジョイ・デイジー 色んな方法で読む、わかる！

ENJOY daisy DAISY
Digital Accessible Information System

読めるって楽しい！
全ての人が同じ情報をシェアすることが出来ます。

【マルチメディアデイジー教科書 とは？】

通常の教科書と同様のテキスト、画像を使用し、テキストに音声をシンクロ（同期）させて読むことができるものです。ユーザーは音声を聞きながらハイライトされたテキストを読み、同じ画面上で絵をみることもできます。



小学校4年生国語 「ごんぎつね」より

【教育センター302室 教育実践サポート室】



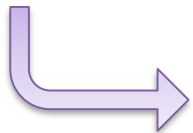
音声教材のデータサンプルが教育センターのこのパソコンで、いつでも視聴できるようになりました。



学校でも音声教材データをダウンロードすることができます。詳しくは特別支援教育課へお問合せください。



全小・中・
特別支援学
校へ配付



【各学校】⇒【教育委員会】

音声教材・マルチメディアデージー教科書使用申請書

■申請者情報

- ・ 学校名
- ・ 担当者氏名 等

■利用者情報

- ・ 利用児童生徒の在籍
- ・ 読みの困難さの主となる状況 等

■端末情報

- ・ PCの管理

■確認事項

児童生徒の利用の
目的が明確になり
ます。



【記入例】

様式 1

音声教材・マルチメディアデージー教科書使用申請書

- ・ マルチメディアデージー教科書は通常の教科書と併用ができます。
- ・ 利用対象は、読みに困難さがある児童生徒です。
- ・ 学校長の申請承認後、校務支援システムメールにて、特別支援教育課担当者宛に送付してください。
- ・ 申請後、学校・学年のログインIDとパスワードをお知らせします。各学校及び家庭に必要な教科・単元の教科書データを直接ダウンロードしていただけます。
- ・ 併せて、マルチメディアデージー図書「わいわい文庫」の活用を希望する学校には、製作団体より別途CDが配付されますので、以下の項目の「はい」を選んでください。
(配布後に受領証の提出が必要です。)

■申請種別

記入日 平成 30 年 ○ 月 ○ 日

■申請者情報

学校名	北九州市立 北九小	学校
校長(承認者)名	小倉 太郎	
担当者(管理者)名	戸畑 花子	
特別支援教育コーディネーター名	八幡 次郎	

■利用者情報(5名以上の希望がある場合は、枠を増やすか、別業に記入してください。)

利用児童生徒氏名	学年	在籍	読みの困難さの主となる状況(プルダウンから選択)
○○ ○○	小1年	通常(通級)	C. 特殊音節を読むのが苦手
△△ △	小4年	知的学級	A. 逐次読みになってしまう

■端末情報

パソコン等の設置場所	管理番号	担当教員	使用する学年
1の1教室	PC001	A教員	小1年
知的学級教室	PC100	B教員	小3年

■確認事項

1 教科書等を読むことが困難な児童生徒が在籍している。	はい
2 読みが困難な児童生徒のみが利用対象である。	はい
3 申請したパソコン端末以外での活用をしない。	はい

【教育委員会】 ➡ 【各学校】

音声教材・マルチメディアデিজリー教科書使用許可書

■利用者情報

- ・ 利用児童生徒の在籍 等
- ※ 申請書とリンク

■端末情報

- ・ PCの管理
- ※ 申請書とリンク

■パスワード

- ・ 学校IDパスワード
- ・ 学年IDパスワード

学年パスワードを使えば家庭学習でも活用できます。



音声教材・マルチメディアデিজリー教科書使用許可書

- ・ 貴校の学校・学年のログインIDとパスワードを以下のとおりお知らせします。
- ・ 別紙手順に従って、各学校で必要な教科・単元の教科書データを直接ダウンロードしてください。
- ・ マルチメディアデিজリー教科書の活用方法について、当該児童生徒及び保護者と十分に検討してください。
- ・ 併せて、マルチメディアデিজリー図書「わいわい文庫」の活用を希望した学校には、製作団体より別途CDが配付されます。(配布後に受領証の提出が必要です。)

令和 年 月 日

■申請者

北九州市立	学校
校長	様

北九州市教育委員会
特別支援課長 山田 浩司

下記の児童生徒を対象として申請された端末による、貴校のマルチメディアデিজリー教科書の使用を許可します。使用期間は令和2年3月31日までです。

■利用者情報

利用児童生徒氏名	学年	在籍

■端末情報

PC等の設置場所	管理番号



貴校のマルチメディアデিজリー教科書の利用パスワードは以下のとおりです。別紙の手順に従って、活用してください。


学校名	用途	ログイン名	パスワード
			29

申請許可証
とともに
小・中・特
別支援学校
へ配付




音声教材「マルチメディアデイジー 教科書」のダウンロード方法

 **デイジー教科書** 



いつも使う教科書が音声や
ハイライト表示で分かりや
すくなります。



北九州市教育委員会 特別支援教育課

【方法1】 ブラウザでダウンロードして再生する方法

- 1 「マルチメディアデイジー教科書」で検索

<http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytext.html>

- 2 見出し「マルチメディアデイジー教科書」をクリック

- 3 見出し「WindowsPCで使用する」をクリック

- 4 「ブラウザでダウンロードして再生する」をクリック



5 ブラウザで次のURLを開く

<https://sb.jsrpd.jp/login>

6 学校に配付されたログイン名とパスワードを入力

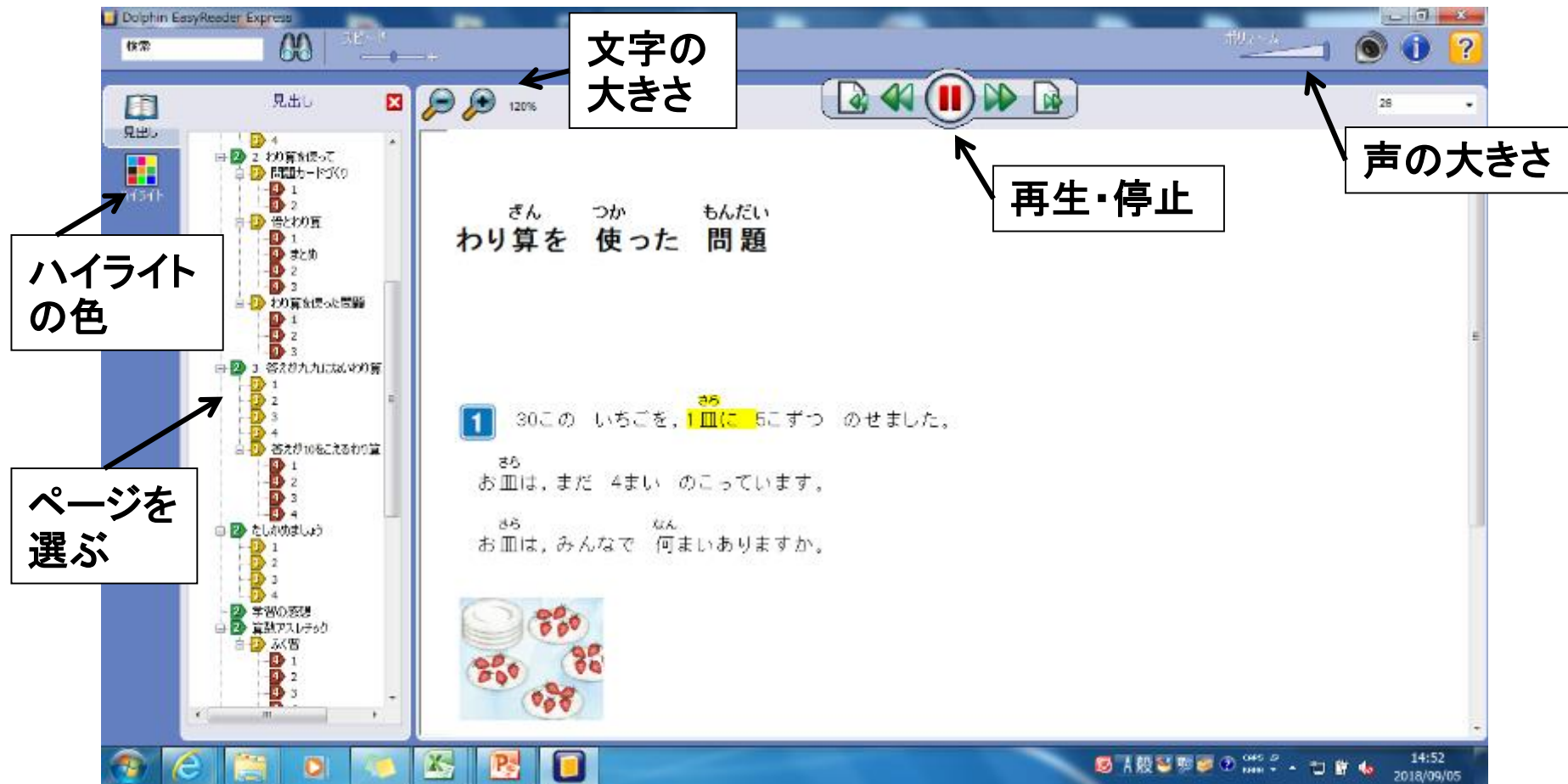
※「校内用」のログイン名等では全学年のデータを検索できます。

※「小学3年生」は、小1から小3までのデータを検索できます。



The screenshot shows a web browser window with the URL <https://sb.jsrpd.jp/login>. The page title is "マルチメディアデジター教科書提供システム". The main heading is "ログイン". There are two input fields: "ログイン名 (5文字)" and "パスワード". Below the fields is a "ログイン" button. At the bottom, there is a link "パスワードを忘れたら" and a button "パスワードの変更". The footer contains the copyright information: "Copyright © 2016-2018 公益財団法人日本図書館リハビリテーション協会".

12 文字の大きさや声のスピード、ハイライトの色も変えることができます。



※ 学年用パスワードを使って、児童生徒の家庭でもデータをダウンロードすることができます。

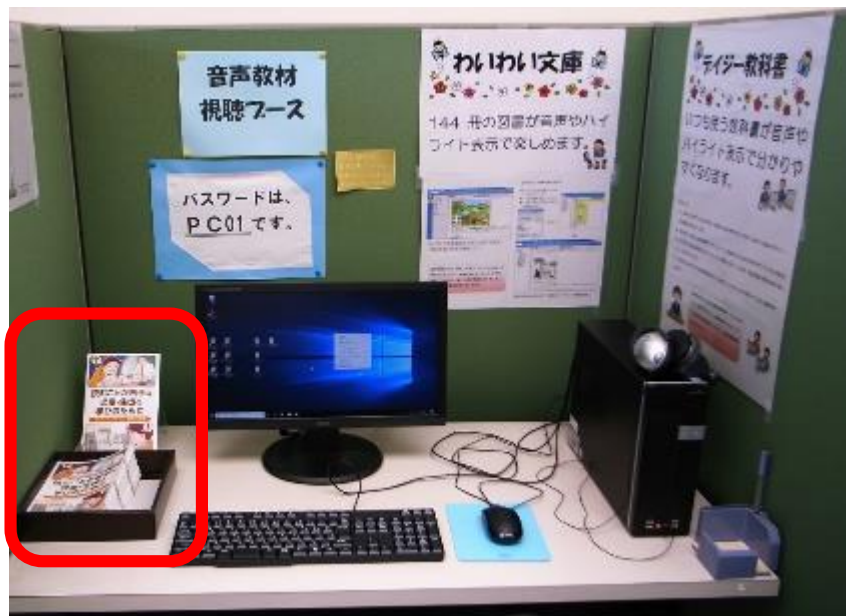
5 マルチメディア・ダイジュー教科書の啓発・広報

【「マルチメディアダイジュー教科書」視聴ブース】



北九州市立教育センター 教育実践サポート室
(北九州市八幡西区相生町20番1号 TEL: 093-641-1775)³⁴

【「日本点字図書館」作成の 冊子の活用】



社会福祉法人
日本点字図書館 HP参照
(<https://www.nittento.or.jp>)



読むことが苦手な 児童・生徒の 学びのために

・マルチメディアデイジー教材のご紹介・



マルチメディア・ダイジー教科書の啓発

【音声教材「マルチメディアダイジー教科書」普及促進研修会】



講師
日本障害者リハビリテーション協会
情報センター 吉広 賢史 氏

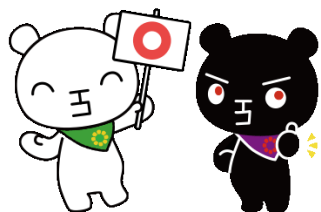


講話
「デイジー教科書提供の取組 ~デイジーによる「読み」の支援~」

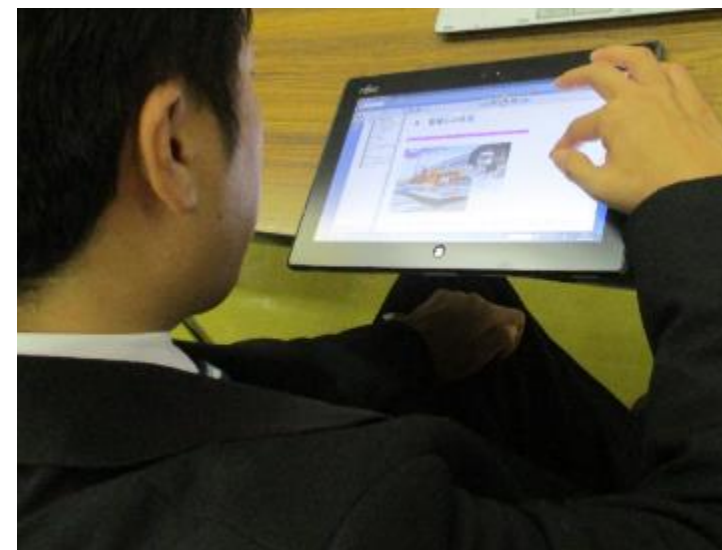
平成30年12月11日
北九州市立教育センター

実践編

「デイジー教科書を
実際に使ってみよう」



PCでハイライトの色を変えて



タブレットにタッチして

音声教材普及促進研修会参加者

人数

小・中学校通級指導教室担当者

36名

小学校教員（教頭・教務主任・特別支援学級担任）

10名

中学校教員（生徒支援担当・特別支援学級担任）

2名

特別支援学校教員（教務主任・支援部担当教員）

4名

教育委員会（特別支援教育課長・指導主事）

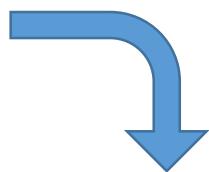
4名

合計

56名

【北九州 市政だより】

- ・毎月2号発行
- ・「人権週間」に関連付けて、視聴体験の案内を掲載



北九州 12/1 2018 市政だより

市民生活や申請窓口の問い合わせ
北九州コールセンター
☎671-8181
FAX. 671-0088

北九州ホームページ <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/>
編集発行：北九州市政広報課 〒812-8501 北九州小倉北区扇町1-1 ☎582-2226

主な内容
特集 北九州の食の魅力
パワースタッフ
まちがいクイズ



▲どきどき漁師の1人・高須剛さん

▲平松とれとれ朝市(小倉北区)

▲豊前海一初カキ

特集 北九州の食の魅力

お知らせ

市議会審議を中継

市議会12月定例会をケーブルテレビ(11チャンネル)とインターネットで中継します。中継は12月上旬。インターネット中継のアクセスは市のホームページ(アドレスは表紙参照)からどうぞ。詳細は市議会事務局総務課☎582・2622へ。

音声教材「マルチメディア ダイジー教科書」の視聴体験

発達障害などのある児童生徒向けの教材。12月4日(火)～7日(金)・10日(月)の8時30分～17時、教育センター(八幡西区相生町)で。小・中・特別支援学校の児童生徒の保護者。☎教育委員会特別支援教育課☎582・3448へ。

市債を発行します

単位は1万円以上。期間は10年。☎12月7～17日(発行日は12月21日)窓口販

2ページで詳しく紹介します

【他部局との連携: 子ども家庭局研修会】

平成30年度
第6回放課後児童(学童保育)クラブ指導員研修会
合理的配慮を要する子どもへの対応研修Ⅱ

全ての子どもが楽しく過ごすために
～特別支援教育の視点を生かして～



北九州市教育委員会指導部
特別支援教育課
指導主事 千々和 知子



ENJOY DAISY
Digital Accessible Information System

【マルチメディアダイジー教科書とは?】
通常の教科書と同様のテキスト、画像を使用し、テキストに音声をシンクロ（同期）させて読むことができ、ユーザーは音声を聞きながらハイライトされたテキストを読み、同じ画面上で絵をみることもできます。

小学校4年生国語「ごんぎつね」より

(日本リハビリテーション協会HPより抜粋)

【北九州市教育委員会Facebook】



北九州市教育委員会
@kitakyushucitykyoiku



北九州市教育委員会

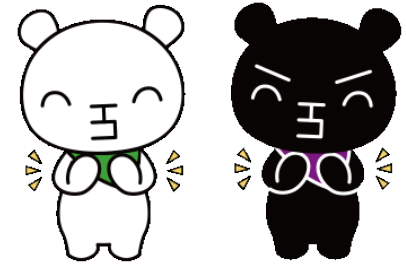
1月15日 · 🌐

★デジ教科書の普及を目指して！★
「マルチメディアデジ教科書」は、パソコン等を使用し、音声再生と、文字・図形の拡大や色の強調を同時に行うことで、教科書を読むことが困難な児童生徒の負担を軽減する教材です。

すでに、デジ教科書を活用している学校では、児童生徒から「楽しく学習できた！」という声も聞かれており、さらなる普及のため、教育委員会では、小・中・特別支援学校の教職員を対象とした研修なども実施しています。

八幡西区の教育センターでは、一般の方にも、このデジ教科書をご視聴いただくことができますので、ぜひお越しください。

《この記事の作成者》
北九州市教育委員会指導部特別支援教育課
Tel.093-582-3448

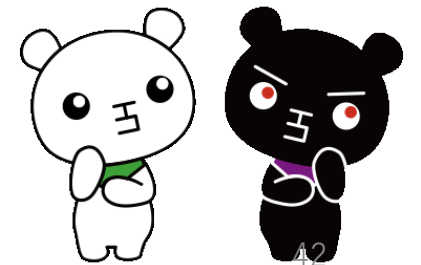


【成果】

- 様々な学びの場での利用
(通級指導教室、特別支援学級、特別支援学校 等)
- H30年9月～H31年3月までの利用実績:
23校、90名の児童生徒
- 家庭学習との連携強化
- 現場の声 「学習意欲がアップした!」
「自信をもって読めるようになった!」

【課題】

- 「ダイジーポット」の活用
(R2年度、新校務支援システムへ改定予定)
- タブレット端末での活用
(R2年度、タブレット端末の完全整備予定)
- 児童生徒の活用事例の共有
- 活用の効果検証



ご清聴ありがとうございました

令和元年度

北九州市の特別支援教育

～北九州市特別支援教育推進プランに基づく取組の充実～



北九州市教育委員会